

院外広報誌「ふれあいひろば」が新しく生まれ変わりました！

愛仁会リハビリテーション病院 広報誌

あいリハ plus



再びその人らしい生活に

秋号
2024.10
vol.110

特集 リハビリ最前線

vol.2 入院から退院までの流れ

リハビリ最前線

vol.2 入院から退院までの流れ

愛仁会リハビリテーション病院では、急性期病院での治療を終えた患者さんが、自宅や社会に戻ってから再びその人らしい生活を送ることができるよう、入院早期から症状に応じたリハビリテーションを実施しています。

今回は、急性期病院での治療を終えた患者さんが、当院でどのような療養生活を送られ、退院の日を迎えられるのか、具体的な事例をもとにご紹介します。

ナビゲーター
森木 副看護部長



脳梗塞を発症したAさん（70歳 男性）は、急性期病院での治療を終え、当院へ入院されました。脳梗塞の後遺症である右片麻痺や嚥下障害、高次脳機能障害*の改善に向け、当院でのリハビリテーションが始まりました。現在、車いすを利用されているAさんの目標は「杖歩行ができるようになり、夫婦二人で暮らす自宅に戻る」です。思いが叶えられるよう、退院までしっかりと支援していきます。

*高次脳機能障害とは、病気やケガで脳がダメージを受けたことにより、注意力・記憶力・言語・感情のコントロール等がうまくできなくなるなどの障害で、脳の病気の部位により出現する症状も違ってきます。

専門性をかけ合わせたチーム医療

初回カンファレンス

主治医、看護師、セラピスト、ソーシャルワーカー、管理栄養士などの多職種がチームを組み、Aさんの現状や目標を共有します。Aさんに最適なリハビリが提供できるよう計画書を作成します。カンファレンスは毎月実施し、その後に行う面談で、Aさんと奥さまにリハビリの進み具合などの説明を行います。



入院

診察
ご家族との
面談

診察 ご家族との面談

主治医がAさんの診察、Aさんの奥さまとの面談を行います。



入院時評価

入院時評価

看護師、セラピスト（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）、管理栄養士などがAさんのADL（日常生活動作）やコミュニケーション能力、栄養状態などを把握します。



初回
カンファレンス

入院時自宅訪問

セラピストなどがAさんのご自宅を訪問し、奥さまからAさんのご自宅での様子を伺います。また生活動線上にある段差を図ったり、テーブルの高さなどを確認します。



廊下



病室



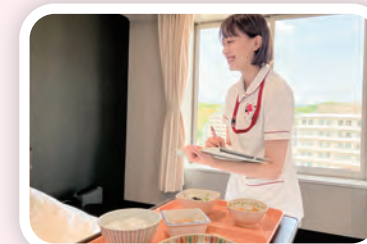
ダイニング



栄養管理

栄養管理

活動量や運動量に合わせ、栄養量の評価を行います。食事場面では摂取量・摂食動作の確認を行い、3食経口摂取ができるよう支援しています。



相談への
対応

相談への対応

Aさんはご自身が自宅に戻られてからの奥さまへの負担を心配されています。担当のソーシャルワーカーがAさんと奥さまに退院後の在宅での過ごし方や福祉制度などの説明を行い、不安なお気持ちに寄り添います。

薬剤管理

服用するお薬を準備するとともに、お薬についての説明を行います。

薬剤管理

栄養管理

リハビリ
テーション
看護

歯科診療

歯科診療

歯科医師・歯科衛生士が在籍しており、歯科治療や口腔ケアを行います。



リハビリを行える体づくりにおいて、食べるための口腔管理はとても重要です！



当院のリハビリテーション看護

病気やケガなどで体が不自由になられた患者さんが「再びその人らしい生活」を送れるよう、多職種と連携しながら質の高いリハビリテーション看護を提供しています。

「もてる力を みつける 支える のばす」を理念に、患者さんの回復状況を考慮しながら、「できること」は伸ばし、「できないこと」をサポートするのが私たちの役割の一つです。より良い形で在宅復帰を叶えるため、患者さんがどのような社会的背景を持って生活されてきたのか、また今後どのような生活を送っていかれるのかをしっかりと把握し、より効果的な支援をめざしています。

もてる力を
みつける 支える のばす

リハビリテーション看護

左手で食べられるよう、使いやすいスプーンや食器を使ったり、机の高さや姿勢を調整し、Aさんご自身で食べられるよう支援します。またリハビリとして行う動作が病棟生活の中でもできるように援助しています。



在籍する約200人のセラピストが365日質の高いリハビリテーションを提供

リハビリテーション理学療法

右片麻痺のあるAさんの歩行能力の向上を目指し、右下肢や体幹を鍛えていきます。さらに安全な歩行ができるよう、歩行補助具を使用したリハビリにも取り組みます。



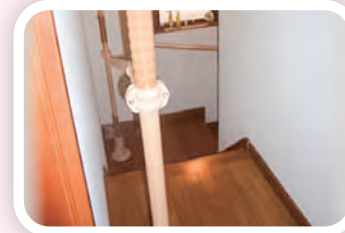
リハビリテーション言語療法

安全に飲み込みができるよう、筋肉運動が起こりやすい低周波刺激を与え、飲みこみに必要な筋力を鍛えます。また、言語理解や表出の改善に向け、言語訓練を通してコミュニケーション能力の向上をめざします。



退院前訪問指導

歩行練習により杖歩行ができるようになったAさん。担当セラピストやソーシャルワーカーなどがAさんとともにご自宅を訪問し、屋外での杖歩行や自宅内に設置された手すりを使った移動方法などを確認します。奥さまへは見守りや介助方法などをお伝えします。



安心して退院できるよう在宅支援へとバトンをつなぐ

退院前カンファレンス

Aさんが退院する日が近づいてきました。担当する多職種からなるチームにAさんのかかりつけ医やケアマネジャー、在宅支援スタッフなども加わり、在宅生活におけるAさんやご家族の希望、具体的な課題などを共有します。



リハビリテーション理学療法

リハビリテーション作業療法

リハビリテーション言語療法

退院前訪問指導

退院指導

退院前カンファレンス

退院

疾患に応じたチーム回診

疾患に応じたチーム回診

嚥下障害のあるAさんの食事形態や摂取方法などの評価を行うため、嚥下造影検査*を行います。食事の際には、摂食・嚥下障害看護認定看護師や摂食嚥下チームがAさんの状況を確認した上で、食事形態の変更や摂取方法などをアドバイスします。



*嚥下造影検査とは、バリウムなどの造影剤を含んだ食事をX線透視下で食べていただき、誤嚥や食物残留の有無などを明らかにする検査です。

リハビリテーション作業療法

食事や着替えといった日常生活動作の向上を図るため、右上肢の可動域や筋力、協調性を改善していきます。また、万能力フなどの自助具の使用を促し、日常生活における自立度を高めます。



退院指導

退院に向け、Aさんや奥さまに体調面・生活面におけるアドバイスをいたします。体調管理や再発予防については、主に看護師が説明を行います。トイレ動作や入浴方法などの身の回りのことは、Aさんができることを奥さまにお伝えしながら、必要な介助方法をセラピストなどがお伝えします。Aさんが在宅生活にスムーズに移行できるよう、多職種が連携を図りながら進めます。



退院後も引き続きサポートします！



退院の日を迎えました。「杖歩行ができるようになり、夫婦二人で暮らす自宅に戻る」という入院時の目標を叶えることができました。今後は、当院の在宅支援部門が訪問看護や訪問リハビリを行いながら、引き続きサポートしていきます。「近くに住むお孫さんと外食をする」という新たな目標もできたので、目標の達成に向け、ご自宅でも引き続きリハビリに励まれます。

当院への入院をご希望・ご検討されている方は、現在入院されている病院の医師へご相談ください。

次号のテーマは「在宅支援 一再びその人らしい生活に」です。

四季折々の花が咲く庭園で癒されながらリハビリを!

天気の良い日には、四季折々の花が咲く4階にある庭園でリハビリに取り組むこともできます。



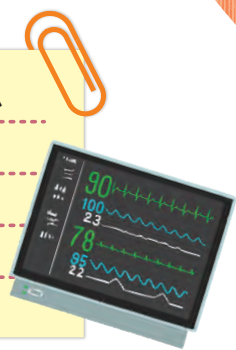
ホッとひととき

外来心臓 リハビリテーションのご案内



次のような疾患により心臓機能が低下した方、心臓外科手術後の方が対象です。

- 心筋梗塞後 ● 慢性心不全 ● 狭心症
- 開心術後 ● 末梢閉塞性疾患
- 大血管疾患 (解離性動脈瘤、大動脈解離) など



外来心臓リハビリテーションでは、心臓機能が低下した方、心臓外科手術後の方の体力の回復や社会復帰、生活習慣の見直しや再発予防を目的に、運動療法はもちろん、二次予防をめざす教育や精神的なケアを含めた包括的なプログラムを提供しています。

運動療法では心肺運動負荷試験 (CPX) を取り入れ、運動耐容能 (身体がどのくらいまでの運動(負荷)に耐えられるのかの能力) を客観的に評価することにより、健康づくりのための最適な運動内容 (種類、強度、持続時間、頻度) を決定しています。

診療日時

毎週 火・水・金曜日 (祝日は除く)
13:30 ~ 15:30



心肺運動負荷試験 (CPX) 装置

※心肺運動負荷試験 (CPX) は血圧、心電図、呼気ガスを計測しながら、エルゴメーターと言われる自転車を漕げなくなる限界まで行う運動生理学に基づいた運動負荷試験です。

受診の流れ



リハビリにより期待できる効果

- 心臓病による再入院の予防
- 狭心症再燃の予防
- 運動能力の向上



外来心臓リハビリテーションに関するご相談・ご予約はこちらまで

愛仁会リハビリテーション病院

072-683-1212

「心リハ外来の予約」
とお伝えください。

ドクターダイアリー vol.2

副院長 清水 洋志 先生

息抜きや趣味についてお話しただくこのコーナー。今回は副院長の清水洋志先生です。



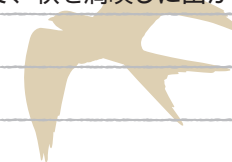
毎年3～4月になるとツバメが渡って来て、子育てし始めるのを楽しみにしています。最寄りの駅では、構内にある監視カメラの上に巣をつくっていたツバメが、夜中にガラス扉に激突しないかと冷や冷やしながら見守っていました。外につくった巣では、カラスが雛を狙うので、複数のツバメ家族でカラスを追い払っていました。大きなカラスに立ち向かうツバメたちの姿は実に感動的でした。

しかし、7月に生まれた雛たちは、記録的な猛暑により、どうやら巣立つことができなかったようです。夏になるとツバメは集団で夜を過ごすようで、ツバメのねぐらになってい

ると聞いた近所の大きな商店街へ行ってみました。残念ながら空振りでした。

ツバメの寿命は平均的には1～2年のようです。短い命の中、必死になって日本へと渡ってきてくれますが、秋には再び南へと帰っていきます。短い命のように思われますが、ツバメに生まれ変わって開聞岳を横目に、南西諸島沿いに長い空の旅をしてみたいなあとも思う今日この頃です。

皆さんもお身体に気を付けて、秋を満喫しに出かけてみてはいかがでしょうか？



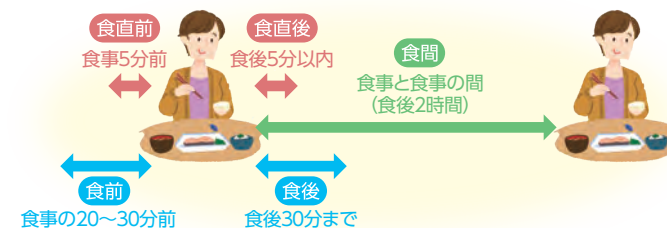
薬剤師に聞く！ お薬のポイント

薬剤科 | 榎屋根 佳子 科長

薬の服用時間について

薬を飲むタイミングには、「薬の効果を最大限引き出すため」、「副作用を起こさないため」など様々な理由があります。飲み薬は決められた量を決められた時間にコップ1杯のお水で飲みましょう。

- 食前: 食事の20～30分前
- 食直前: 食事の5分前～直前。お箸を持つ直前が目安
- 食間: 食事と食事の間、食後2時間が目安
- 食直後: 食後5分以内
- 食後: 食事が終わってから30分後まで。食後すぐでもOK
- 寝る前: 寝る直前または30～60分前
- 頓服: その症状がでたとき (発熱時や頭痛時など)



お薬の保管について

湿気・日光・高温 (30℃以上) を避けて、子供の手の届かない場所に保管しましょう。夏の車の中は50～80℃になるので絶対に薬を置かないよう注意しましょう。冷蔵庫で保管する薬は凍らせないように注意しましょう。冷蔵庫保存が適さない薬もあります。

お薬の飲み忘れについて

飲み忘れに気付いたらすぐ飲むようにしましょう。ただし2回分をまとめて飲んではいけません。薬の種類によっては飲み忘れの対応が異なる場合がありますので、医師・薬剤師に相談しましょう。

今年もたかつき産業フェスタに出展します！

11月9日(土)に安満遺跡公園で開催される「たかつき産業フェスタ」に今年も出展します。今回は高槻病院とともに、インボディや握力計による体成分の分析、筋肉量や体脂肪量、筋力などの測定を行います。測定後には、理学療法士や管理栄養士から生活習慣や運動習慣、食習慣に関するアドバイスもあります。

この機会にご自身のカラダをチェックしてみませんか？
愛仁会ブースへぜひお越しください！

たかつき産業フェスタ

開催日時 2024年11月9日(土)
11:00 ~ 16:00

開催場所 安満遺跡公園(高槻市八丁畷町12-3)



▲詳細はこちら



昨年度の様子

健康栄養教室のご案内

開催日 11月21日(木) 骨粗鬆症について
12月19日(木) 高血圧について

開催時間 10:00 ~ 11:00

開催場所 当院3階「愛仁会ふれあい広場」 ▲詳細はこちら



一般の方を対象に健康栄養教室を開催しています。管理栄養士が食事や栄養との関連、毎日の食事への取り入れ方についてお話しします。歯科医師や専門の認定看護師など他職種からのお話しを交える回もあります。

詳細につきましては院内ポスターや当院ホームページ、SNSで随時お知らせしていきます。ぜひご参加ください！



第4回 AIJINKAI 義足セミナーのご案内



▲詳細はこちら

開催日時 2024年12月21日(土) 13:00 ~ 16:00

開催方法 Web開催(Teams)

対象 義足に興味・関心のある方
(医師・理学療法士・義肢装具士など)

参加費 無料



今年もAIJINKAI義足セミナーを開催します。テーマは「下腿切断者の義足リハビリテーション～理学療法士と義肢装具士の視点から考える～」です。講師の方々から

は、義足リハビリテーションを進めていく上で必要不可欠な知識や介入方法についてお話しいただけます。

義足について学べる絶好の機会となりますので、ぜひご参加ください！

編集後記

広報誌をリニューアルして2回目の発刊を迎えました。前号に引き続き、広報誌の「顔」ともいえる表紙を飾るのは、愛リハ病院で働く職員の方々です。表紙に写る皆さんの表情を見ていただけるとわかれると思いますが、どの職種の方々も広報活動にとっても協力的なんです。温かい病院の雰囲気や、一生懸命リハビリテーション医療と向き合う職員の姿をこれからもお届けしていきます！

広報室 加藤 友恵

アンケートにご協力ください！



愛仁会リハビリテーション病院

三島圏地域リハビリテーション地域支援センター

〒569-1116 大阪府高槻市白梅町5-7 TEL 072-683-1212
<https://www.aijinkai.or.jp/reha/>



ホームページ



インスタグラム



フェイスブック



読者アンケート